

2012.12.12

「『週刊西田』アカウント停止?!徹底抗戦宣言！」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は12月12日です。現在は選挙期間中であり、選挙に関することは一切発言出来ませんが、本日このビデオレターを更新しましたのも、皆様にひとつ知っていただきたいことがあるからです。

先ほど、支援者の方からの報告で、私の姉妹サイトでチーム西田の方が作って下さっている「週刊西田」のアカウントが停止されており、youtubeの動画が閲覧できないということでした。私も今、慌てて確認しましたが、アカウントが停止しておりました。そして、チーム西田の方に問い合わせたのですが、今朝6時頃に急にメールが届き、アカウントを停止させるという通告がyoutube側からあったそうです。普通はアカウントを停止させられるのは、何か違法動画を投稿した後に警告があってからだそうです。

しかし、私の場合は、週刊西田において違法動画があるはずはなく、当然選挙に関する発言もしていません。いわゆる、一般的な政治談義を皆様方にご報告していただけです。ではなぜ、アカウントを停止させられたのか疑問に思っているところです。

そうした、同時にここ数日、インターネットの2chにおいて、私への攻撃が目立っていました。そして、その中身を見てみましたら、今年の夏に出演した

テレビ朝日「朝まで生テレビ」に関するものでした。番組内において憲法論議をしてきたのですが、その中の私の発言を取り上げて「西田は主権在民・国民主権を否定している、けしからん」といった話になっているのです。

これはニコ動で主権在民で検索していただくと、私の発言や、その関連で西部邁先生が、かつてお話になられていた動画を見ることで、私の発言の理解の一助になると思います。要は、今我々の国民主権といっている権利は何者にも制限されない圧倒的な力であり、この権限が国民に付与されていますが、この意味は一体なんなののでしょうか。単に国民だからということだけではなく、我々が日本の主権者である理由は、我々の先祖が日本を守り、創り、それを代々受け継いできたという、相続権としての権利ではないかということなのです。ですから、単に生まれた途端に与えられるのではなく、我々の歴史や伝統などの延長線上に、我々の地位「主権」というものがあるのです。そして、このことをしっかりと考えなければいけませんし、単に我々にはなんでも権限があるという思い込みでモノを言うと、謙虚さを失ってしまいます。謙虚さを失ってしまってから、権利の暴走が始まるのです。

今日の民主制が乱れてきてしまっている、一番の理由は、戦後の表面上の議論にあると思っています。当時の「朝まで生テレビ」の中においても、このことをご存じない方が、極論の憲法改正案などを議論しており、私もあえて極論で返したわけです。そして、テレビをご覧になったかたはお分かりになるかと

はと思いますが、突然、発言の一部を取り上げられて非難されているのですが、しっかりと動画を見ていただいてご判断していただきたいです。いずれに致しましても、私は自分の発言に責任を負っておりますから、発言を取り消すつもりもありません。そのところを、良く判断して頂きたいです。

ただ問題は、今回のアカウント停止もそうですが、憲法など、ある意味では戦後のタブーであり、絶対的正義だと思われてきたことに論議が起こると、未だに今回のような攻撃があつたりすることが問題なのです。私は、憲法論議はタブーを抜きにして、徹底的に国民と議論していくことによって、一体なにが問題なのかという全体像が見えてくると思っています。その為の議論のきっかけとして、私もあえて、様々な場所で、ある意味では戦後の常識を覆すような発言をしています、これは皆様に議論を行って頂きたいですし、その発言の背景を考えて頂きたいのです。その中で、戦後の問題が見えてくると思っております。

私自身、今回のような事件にめげることは全くありません。アカウントも再び再開できるように、チーム西田の方が youtube にもお願いすると思いますが、是非皆様方には、このような言論を封鎖するようなやり方は辞めて頂きたいと私が闘っていることを知って頂きたいのです。

残念ながら、未だに言論を封鎖する風潮があります。現に、私の週刊西田もアカウントが停止されたりしています。しかし、自由な言論を停めるというこ

とは本当におかしいのです。しかも、選挙のこととは全く違う話なのです。まさに日本の問題点であり、以前からも言っておりますが、戦後のプレスコードが今に至っても及んでいるということです。このことが日本中を思考停止させてしまっているのです。このような思考停止集団がたくさん存在していることは以前からも承知していますが、少しこれはひどいと思います。それから、今になりこのようなことを行っているということは、選挙直前だからこそ、彼らがそのような言論をあちこちで流布し、2ch では荒らしのようなことを行っているのだろうと思います。そのような意味で言いますと、彼らも私の言葉に過剰反応しているのです。逆に皮肉ではありますが、私の言葉がある意味では影響力があるということです。自分としては、それなりに世間が気にするということは、有り難いことであると感謝しています。

いずれに致しましても、このようなことにめげずに、皆様方にご支援をお願いしたいと思っております。

本日もご覧になって下さり、ありがとうございました。